

総代会制度について

1. 総代会制度について

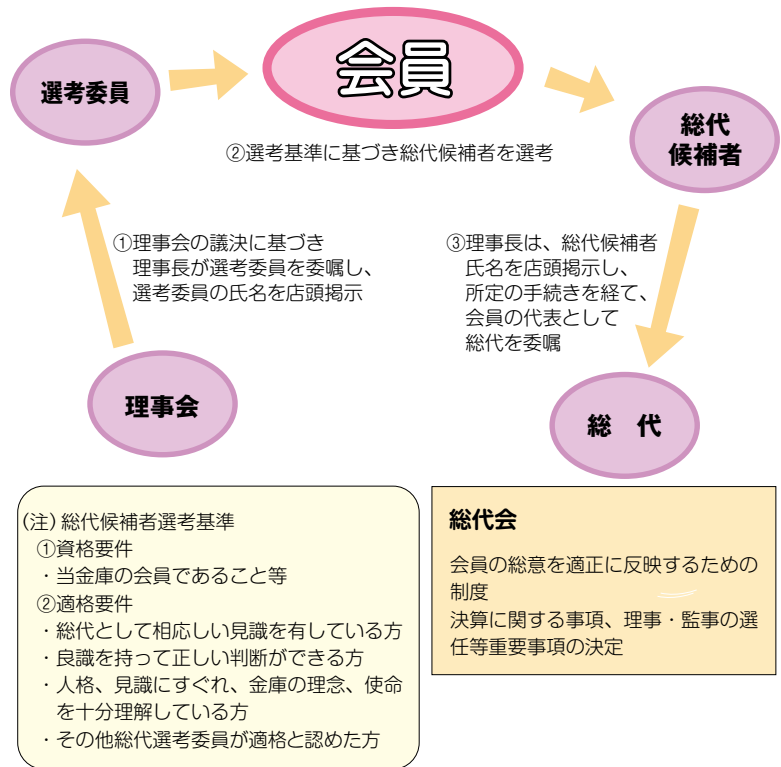
会員の皆さまに当金庫の運営に参加していただくためには、本来ならば総会を開催するところですが、会員数が多いため（平成22年3月末現在、48,431人）、その開催は困難です。そこで当金庫は、定款の規定により、会員総会に代わるべき機関として総代会制度を採用することで、会員の総意を適正に反映、審議を充実させております。総代会には会員の中から選出された総代にご出席いただいております。

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互惠」の精神を基本理念に、会員ひとりひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員ひとりひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続により選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

総代会は、会員1人1人の意見を適正に反映するための開かれた制度です。



2. 総代とその選任方法

(1) 総代の任期・定数

当金庫定款の規定により、総代の定数は140名～200名、任期は2年で、原則75才を総代の定年としております。現在、当金庫の総代数は185名です。

(2) 総代の選任方法

総代は、会員の代表として会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っています。

総代の選出方法は、総代候補者選考委員会（※）が推薦した候補者に対して、店頭に掲示した旨の公告を行い会員が信任する形式にて選出しております。

※総代候補者選考委員会

理事会において会員の中から選任された委員で構成されます。

総代候補者選考委員会では、総代会に会員各層の意思が適切にかつ幅広く反映されるよう選考を行います。総代の地域別定数は、会員の地域別割合に比例するように定めております。

■ 総代の構成基準

a. 年齢

高齢者の構成比率減少を図り、若年層構成比率が増加するよう配慮しております。

b. 職業

職業別構成の多様化を図り、広範な職業分布となるよう配慮しております。

総代候補者選考委員会は、総代候補者を選考した後、新聞公告を行います。

異議申立てが無い場合、候補者は総代として信任されます。

3. 第66期通常総代会の決議事項（平成22年6月18日開催）

1. 報告事項

第66期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

上記は、決算関係書類を報告致しました。

2. 決議事項

第1号議案 剰余金処分案承認の件

上記は、原案通り承認可決されました。

第2号議案 会員除名の件

法定脱退による会員の除名（23先）は、原案通り承認可決されました。

第3号議案 監事3名選任の件

監事の任期満了に伴い、監事3名が選任されました。

第4号議案 退任役員に対し退職慰労金贈呈の件

上記は、原案通り承認可決されました。具体的金額、贈呈の時期、方法等につきましては理事会の協議によることに一任されました。



4. 総代の氏名（185名）（平成22年7月現在）（順不同・敬称略）

第1区 (三原市全域、竹原市全域、世羅郡全域) 54名					
遠藤 修司	大山 勝己	金尾 一郎	勝村 篤博	益谷 弘之	
伏見 暁	梶谷 卓司	近藤 禎宏	大坪 和生	土肥 俊之	
由水 茂文	今井憲治郎	力石 隆史	溝手 顕正	勝原 文紀	
真嶋 智	橘 伸和	保道 慶征	勝村 直樹	福島 偉人	
塚本 舜亮	大藤 宗平	大目木 康行	上田 美代子	幾野 正弘	
横田 雅一	小野 恵	須崎 裕之	松浦 宏樹	田中 亮介	
綾目 雅明	鈴木 孝昭	梅本 秀明	谷本 雄謙	澤田 賢司	
池内 義治	宮田 修	花田 美徳	沖藤 詳造	雨越 國三	
岡崎 展明	伊達 和仁	宇野 司	森定 義次	阪井 義道	
雲地 辰明	小林 久男	藤井 啓文	藤原 聖士	上野 春夫	
吉永 篤	本田 信司	山田 徹	後藤 和之		

第2区 (尾道市全域) 28名				
高橋 秀幸	長澤 雅男	田中 民男	耕三寺 孝三	藤本 文明
塚本美砂子	渡邊 幸雄	石川 悟	濱中 宣治	和泉 伸毅
吉田 大造	村上 榮昭	村上 祐司	亀田 良一	三宅 敬一
田邊 耕造	池田 誠	金森 幹雄	中西 康雄	森数 光男
大畠 肇	天野 直光	前田 畠治	手塚 弘三	前田 定男
大平 修次	山崎 正治	向井 祐治		

第3区 (東広島市全域、三次市(旧三和町分)、呉市(旧下蒲刈町分、旧川尻町分、旧安浦町分、旧蒲刈町分)) 15名					
講崎 節夫	森田 龍造	松本 邦雄	重森 寛行	小川 正昭	
堀内 豊昭	山名 征三	花岡 稔	石竹 常良	早志 光由	
吉田 忠弘	田島 久嗣	南波 忠幸	新谷 幸義	沖 康仁	

第4区 福山市(柳町、田尻町、水呑町、水呑向丘、沼隈町、今津町、神村町、松永町、宮前町、本郷町、東村町、高西町、柳津町、全江町、藤江町) 17名					
陽奥 農司	佐伯 肇	本瓦 誠志	武内 松昭	園田 輝一	
村上 正高	北村 武一	松島 和之	桑田 泰昭	生閑 良成	
来山 淳士	萩原 良明	鈴木 伸一	佐藤 教夫	津田 正三	
寺岡 晋作	坂本 憲秀				

第5区 (福山市(第4区分を除く)、府中市全域、岡山県笠岡市全域、井原市(旧美星町・旧芳井町分を除く)) 50名					
小林 正明	児玉 昌造	森下 博	藤川 恭市	原田 弘人	
木曾 精三	三吉 弘	山本 健次郎	能登 伸一	豊田 直之	
河本 隆雄	井上 準一郎	石井 肇夫	三口 富士夫	松岡 賢持	
羽原 史郎	藤谷 和良	畑 征男	黒田 滋	村上 浩三	
福島 康祐	藤井 基博	山田 進一	菅本 栄介	大村 政七	
藤井 洋二	田口 国昭	酒井 信孚	石黒 詔三	林 征治	
清水 智博	梅澤 勝治	松本茂太郎	占部 誠	児玉 一洋	
吉川 通泰	藤本 健	神原 徹	岡崎 芳明	細川 俊介	
上杉 繁樹	八杉陽一郎	鈴木 章平	濱田 富雄	大森 敏之	
近藤 勝彦	久一 昭政	高橋 宏明	藤井 直彦	高橋 邦宏	

第6区 庄原市(旧口和町・旧高野町・旧比和町分を除く)、神石郡全域、新見市(旧首西町分、旧神郷町分、旧新砥村分)、高梁市(旧備中町分) 21名					
舛岡 亘	生熊 益実	深井 正	佐川 博章	渡辺 日三吉	
若林 弘孝	平田 雄一	竹内 光義	山崎 照志	大橋 信博	
内藤 勝也	齋藤 健	宮田 長政	名越 陽治	瀬尾 満伸	
森岡 勝己	石川 敏員	後藤 文好	三輪 節雄	三石 英明	
久保田博道					